

2 学習指導過程

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>○自分自身は、正義を大切に生活できているだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰とでも仲良くできるように心がけて生活している。</li> <li>・まわりの雰囲気にならされて、いけないと思うことでもやってしまうことがある。</li> </ul> <p>○正義を大切にできないことがあるのは、どうしてだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まわりも正義を大切にしていなくて自分もいいたらうと思ってしまったから。</li> <li>・あまり深く考えず行動しているから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にとっても正しいと言えることを正義と捉え、正義を大切にすることについての問題意識を喚起する。</li> <li>・正義感についてのアンケート（私たちの道徳）をもとに自分の生活を振り返り、意見交流を行う。</li> <li>・正義を大切にできないことがあるという意見を捉えて、その理由を問い、正義に基づいて行動することの難しさを共有する。</li> </ul>
展開	<p>◇資料を範読する。</p> <p>○「国のやり方はどうであれ、私は人間としてこの人たちを見放すことはできない。」と思い、ビザを発行することを決断した千畝の判断について、あなたはどのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビザを発行すれば、自分が罰を受けることは分かっていたと思うが、それでも多くの人の命を救うことを決断したことは立派だと思う。</li> <li>・役所に勤める者として、上司の命令に従うことは当然なことだし、同盟を結ぼうとしているドイツのやり方と反対のことをするなんて、いくら正しいことでもできない。千畝はどうしてできたのだろう。</li> <li>・外務省という組織の一員として、してはいけないことをした。当時は罰を受けたが、今になって認められるというのはどういうことか。</li> </ul> <p>○自分が千畝の立場だったら、ビザを発行するだろうか。</p> <p>〈決められない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行したいが、国に背くこともできず迷う。</li> </ul> <p>〈発行する〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理由もなく殺されることが分かっている。同じ人間だ。何とかしたい。</li> <li>・ビザを発行すれば、多くの命を救うことができる。</li> </ul> <p>〈発行しない〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外務省を辞めたら、家族を養っていけない。</li> <li>・上司の命令は絶対。背けば、自分にとぼつちりがくる。</li> <li>・ユダヤ人を見捨てることは辛いけれど、自分の責任を全うすることが務めである。</li> </ul> <p>◎千畝がビザを発行することを決断したのは、どういう理由からだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たとえ自分が罰せられたとしても、人の命を守る生き方を人として選択したいと考えたから。</li> <li>・人が殺されると分かっている見逃すことはできない。自分がビザを発行することで多くの人の命が助かるのなら発行するべきだと考えたから。</li> <li>・ユダヤの人に永遠に恨まれて生きていくのは嫌だ。恨まれない生き方をしたいと思ったのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の総合的な学習の時間等に千畝について学んだことを振り返り、千畝の生き方から「社会正義」について考えることを確認する。</li> <li>・千畝の生き方を肯定的に受け止める発言については、その理由を尋ね、様々なものの見方や考え方に触れさせることで「他者理解」が進むようにする。</li> <li>・「自分にはできない」といった発言については、肯定的に受け止めた上で、どの部分が真似できないのかを確かめ、自分自身を見つめさせることで「自己理解」が進むようにする。</li> <li>・「発行する」「発行しない」という行為を選んだ自分自身の心を見つめられるよう、判断の理由付けを問い返す。</li> <li>・その際、多面的・多角的に考えられるよう、ユダヤ人や千畝の家族、上司の立場から考えたり、その結果どうなるかを推測したりすることを通して、「人間理解」が進むようにする。</li> <li>・「私たちの道徳」の『千畝の手記』（P 123）を参考に考えを深める。</li> </ul>
前段	<p>【深めの発問】</p> <p>★後年、自分のおこないが広く認められた千畝はどんな気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人として正しい生き方を選択し行動したことが、誰もがよりよく生きることのできる社会の実現や自他の喜びや達成感につながることを捉えられるようにする。</li> </ul>	<p>【深めの発問】</p> <p>★後年、自分のおこないが広く認められた千畝はどんな気持ちだっただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人として正しい生き方を選択し行動したことが、誰もがよりよく生きることのできる社会の実現や自他の喜びや達成感につながることを捉えられるようにする。</li> </ul>
展開後段	<p>○正義を大切に生活するには、どうしたらよいらう。</p> <p>仲間と話し合った後、自分の考えをまとめよう。（グループ→全体→個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私は、人として正しいこととは何なのかをあまり考えることがなかったが、これからは、自分自身の行動やまわりの行動がみんなのためになっているかを考え、見つめ直したい。</li> <li>・よくないことだと思ってもまわりの目を気にして正しいことが言えないことがある。正義を大切にするには、勇気を出してだめだと伝えることだと思う。一人では難しいことかもしれないが、友達に自分の思いを伝え、正義を大切にすることを増やしていきたいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時に学習した道徳的価値を日常生活に生かすことができるよう、導入で提示した問題について改めて考える場とすることで、自己の変容を確かめる。</li> <li>・方法のみの話し合いにならないよう、考えた際の気持ちや理由を伝え合うことに配慮する。</li> </ul>
終末	<p>◇正義を大切に生活することの難しさを述べていた生徒の意見を取り上げ、考えの変容を広める。</p>	<p>&lt;変容の見届け&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まわりの雰囲気にならされがちな生徒が、「人として正しいことは何かについて、立ち止まって考えたい」と書いている。</li> <li>・不正に気付いてもまわりに積極的に働きかけようとする意識の弱かった生徒が、「見て見ぬふりをしないで、小さなことでも行動に移す」ことを書いている。</li> </ul>